

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社 クレディセゾン

上場取引所 東

コード番号 8253 URL <http://www.saisoncard.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大阿久 学

TEL 03-3982-0700

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	127,555	△12.2	21,833	59.6	24,970	41.7	17,513	75.7
23年3月期第2四半期	145,266	△7.3	13,684	△23.9	17,626	△8.0	9,966	15.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 16,993百万円 (154.5%) 23年3月期第2四半期 6,676百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	95.37	95.17
23年3月期第2四半期	54.27	53.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,159,569	359,353	16.5
23年3月期	2,231,246	347,915	15.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 356,533百万円 23年3月期 345,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	257,000	△10.0	36,500	33.3	42,500	25.9	25,000	94.9	136.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年11月9日)公表の「平成24年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想と実績との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	185,444,772 株	23年3月期	185,444,772 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,810,922 株	23年3月期	1,809,960 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	183,634,406 株	23年3月期2Q	183,637,654 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社では、ホームページにて、事業・業績に関する補足説明資料及び四半期決算短信の英訳(要約版)を提供しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動や個人消費が東日本大震災による落ち込みから緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の債務危機や海外経済の減速懸念に伴う円高・株安の継続など、先行き不透明な状況が続いております。

また、当社が属するノンバンク業界においては、貸金業法の完全施行等によりキャッシング収益が減少し、ビジネスモデルの転換を余儀なくされるなど、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況において当社は、カードビジネスを核とした営業収益の拡大、フィービジネスの拡充と会員資産を活用したマーケティング事業の育成、リース事業やファイナンス事業の強化による収益源の多様化、債権の健全化や経費構造の見直しによる事業効率の向上など、新成長戦略の基盤づくりに努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

営業収益においては、主力の「クレジットサービス事業」において、「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」など稼働効率の高いプレミアムカードの獲得強化や有力企業とのサービス提携拡充によるカード利用特典の強化を通じたショッピング取扱高の拡大に努めました。また、WEBを活用したタイムリーな訴求強化によるショッピングのリボルビング残高の積み上げを推進いたしました。一方、ネット会員の拡大やネットサービスの機能向上によるフィービジネスの拡充など、収益力の強化にも注力いたしました。

しかしながら、貸金業法の改定に伴う総量規制の影響等によりカードキャッシング収益が減少したことに加え、当社が(株)そごう・西武と行っていた提携カードイシューア事業を(株)セブンCSカードサービスへ承継したことに伴い、新規カード会員数、ショッピング取扱高、ショッピングのリボルビング残高、カードキャッシング残高等が対前年同期比で減少した影響により、同事業全体では減収となりました。

当第2四半期連結累計期間の新規カード会員数は93万人、当第2四半期連結会計期間末のカード会員数は2,489万人(前期末比12.1%減)、カードの年間稼働会員数は1,286万人(前期末比12.5%減)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間のショッピング取扱高は1兆6,633億円(前年同期比14.7%減)、当第2四半期連結会計期間末のショッピングのリボルビング残高は2,629億円(前期末比12.3%減)となりました。カードキャッシング残高は3,693億円(前期末比17.5%減)となりました。

「リース事業」では既存取引先との関係強化及び新規提携販売店の拡大等により増収となりました。

「ファイナンス事業」では、フラット35の実行件数拡大により収益が増加する一方、信用保証事業において保証実行額は増加したものの、不動産担保ローンの残高が減少した結果、同事業全体では減収となりました。

「不動産関連事業」では、資産の入れ替えや圧縮など資産効率の向上に取り組み、販売用不動産物件の売却を進めた結果、不動産売上高が増加し、増収となりました。

「エンタテインメント事業」では、東日本大震災による店舗休業・営業時間短縮の影響等により減収となりました。

以上の結果、営業収益は1,275億55百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

営業費用においては、債権管理の強化により債権の良質化が進展したこと及び弁護士・認定司法書士等による第三者介入債権が沈静化しつつあることにより貸倒コストが減少いたしました。また、環境保全や利便性向上の観点から推進している、ご利用明細書をいつでもネット上で確認できる「WEB明細」の登録会員を拡大したことにより通信費が減少したことに加え、業務効率化により広告宣伝費や人件費、金融費用など各種経費の抑制に努め、筋肉質なコスト構造の構築を図った結果、営業費用は1,057億22百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

以上の結果、営業利益は218億33百万円(前年同期比59.6%増)となりました。

経常利益は、カード合弁会社をはじめとした持分法適用の関連会社の業績が順調に推移し、持分法投資利益が15億86百万円(前年同期比56.8%増)と貢献したこと等により、249億70百万円(前年同期比41.7%増)となりました。

四半期純利益は、(株)セブンCSカードサービスの株式を(株)セブン・フィナンシャルサービスへ51%譲渡したことに伴う売却益として特別利益71億40百万円を計上したことにより、175億13百万円(前年同期比75.7%増)となりました。

1株当たり四半期純利益は95円37銭となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して716億77百万円減少し、2兆1,595億69百万円となりました。主な減少要因としては、平成23年4月1日を効力発生日とする会社分割等により、割賦売掛金が1,076億27百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して831億15百万円減少し、1兆8,002億15百万円となりました。金融機関への借入金返済や社債の償還等による有利子負債が921億22百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して114億37百万円増加し、3,593億53百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金が119億65百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間までの当社グループの業績や経営環境を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました通期の業績予想を以下のとおり変更いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（平成23年11月9日）公表の「平成24年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想と実績との差異及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<平成24年3月期 連結業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	261,000	24,500	30,000	17,000	92.58
今回修正予想 (B)	257,000	36,500	42,500	25,000	136.14
増減額 (B - A)	△4,000	12,000	12,500	8,000	—
増減率 (%)	△1.5	49.0	41.7	47.1	—

(参考)

<平成24年3月期 個別業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	216,000	20,500	23,000	13,000	70.76
今回修正予想 (B)	213,000	32,500	35,000	20,500	111.59
増減額 (B - A)	△3,000	12,000	12,000	7,500	—
増減率 (%)	△1.4	58.5	52.2	57.7	—

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,111	68,183
割賦売掛金	1,490,518	1,382,890
リース投資資産	219,894	218,997
営業投資有価証券	7,219	13,333
有価証券	5,982	993
販売用不動産	229,996	237,782
買取債権	12,737	13,968
その他のたな卸資産	1,113	1,128
その他	60,092	53,966
貸倒引当金	△118,625	△106,466
流動資産合計	1,973,041	1,884,777
固定資産		
有形固定資産	59,569	57,473
無形固定資産	76,632	86,557
投資その他の資産		
投資その他の資産	126,540	135,334
貸倒引当金	△4,969	△4,935
投資その他の資産合計	121,571	130,399
固定資産合計	257,774	274,430
繰延資産	431	361
資産合計	2,231,246	2,159,569
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	171,065	177,218
短期借入金	248,029	232,729
1年内返済予定の長期借入金	138,960	161,208
1年内償還予定の社債	45,225	25,225
コマーシャル・ペーパー	110,000	103,000
1年内返済予定の債権流動化借入金	15,850	26,080
リース債務	1,598	1,555
未払法人税等	1,535	12,503
賞与引当金	2,017	1,974
役員賞与引当金	88	39
利息返還損失引当金	19,612	18,910
商品券回収損失引当金	191	182
割賦利益繰延	6,148	5,488
その他	37,342	35,447
流動負債合計	797,666	801,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債		
社債	210,887	200,675
長期借入金	691,635	637,809
債権流動化借入金	78,317	60,752
リース債務	3,928	3,274
退職給付引当金	2,179	2,145
役員退職慰労引当金	73	85
債務保証損失引当金	5,464	5,473
瑕疵保証引当金	19	20
ポイント引当金	65,880	68,217
利息返還損失引当金	15,569	8,590
資産除去債務	834	818
負ののれん	705	518
その他	10,169	10,272
固定負債合計	1,085,664	998,652
負債合計	1,883,330	1,800,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,929	75,929
資本剰余金	84,838	84,838
利益剰余金	185,628	197,594
自己株式	△6,114	△6,115
株主資本合計	340,282	352,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,569	5,932
繰延ヘッジ損益	△1,622	△1,646
その他の包括利益累計額合計	4,947	4,286
新株予約権	0	0
少数株主持分	2,686	2,820
純資産合計	347,915	359,353
負債純資産合計	2,231,246	2,159,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業収益		
クレジットサービス事業収益	117,371	99,291
リース事業収益	7,209	7,351
ファイナンス事業収益	7,649	7,481
不動産関連事業利益		
不動産関連事業収益	17,870	23,030
不動産関連事業原価	12,197	16,268
不動産関連事業利益	5,672	6,762
エンタテインメント事業利益		
エンタテインメント事業収益	40,661	37,423
エンタテインメント事業原価	33,558	30,970
エンタテインメント事業利益	7,103	6,453
金融収益	260	215
営業収益合計	145,266	127,555
営業費用		
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	7,262	6,006
貸倒引当金繰入額	22,812	12,357
利息返還損失引当金繰入額	10,111	1,900
債務保証損失引当金繰入額	2,092	1,558
支払手数料	23,542	24,060
その他	54,309	49,690
販売費及び一般管理費合計	120,130	95,573
金融費用	11,451	10,148
営業費用合計	131,582	105,722
営業利益	13,684	21,833
営業外収益		
受取利息	25	18
受取配当金	1,798	583
負ののれん償却額	188	187
持分法による投資利益	1,011	1,586
償却債権取立益	893	598
その他	329	260
営業外収益合計	4,246	3,233

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業外費用		
支払利息	33	26
貸倒引当金繰入額	131	—
投資事業組合等分配損	62	21
貯蔵品処分損	28	24
その他	49	24
営業外費用合計	303	96
経常利益	17,626	24,970
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23
関係会社株式売却益	—	7,140
特別利益合計	—	7,163
特別損失		
投資有価証券評価損	453	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,224	—
災害による損失	—	169
その他	214	47
特別損失合計	1,892	217
税金等調整前四半期純利益	15,734	31,916
法人税、住民税及び事業税	3,835	12,086
法人税等調整額	1,702	2,174
法人税等合計	5,538	14,261
少数株主損益調整前四半期純利益	10,195	17,654
少数株主利益	229	141
四半期純利益	9,966	17,513

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,195	17,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,084	△839
繰延ヘッジ損益	△528	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	93	215
その他の包括利益合計	△3,519	△661
四半期包括利益	6,676	16,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,448	16,852
少数株主に係る四半期包括利益	227	140

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社及び一部の連結子会社は、退職金制度として、キャッシュバランズプラン、確定拠出年金制度及び退職金前払制度（選択制）を採用していましたが、平成23年10月1日より確定拠出年金制度及び退職金前払制度（選択制）へ移行いたしました。この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日）を適用する予定であります。

なお、この移行に伴う損益影響額については現在算定中であり、合理的に見積ることが困難であるため記載しておりません。